

てまり通信第 108 号<春>
2026 年 5 月発行

本年度より、てまり通信の発行が年 4 回となります。一年を通して春夏秋冬にお届けする予定です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。（文 堀川まゆみ）

最新点訳案内

『ラジオ深夜便』3 月号・4 月号…NHK ラジオ番組「ラジオ深夜便」の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…3 月号は、日々のおかずを紹介する読売新聞の連載《きょうの一皿》に加え、春の萌しがあるとはいえ朝夕はまだ肌寒い昨今、そんな日に食べたい「ミネストローネ」や「先取り！春ごはん」の数々のレシピを、4 月号は、根強い人気の朝日新聞連載《料理メモ》のほか、タケノコや新タマネギのレシピを集めました。

『ねこのきもち』…毎月連載の「岩合さんのネコこよみ」の他 3 月号は災害時の備えについて、4 月号は猫とウイルス感染症についての特集記事などを取り上げました。

『いぬのきもち』…3 月号では「犬だって、隙間が好き」や「本当は怖い便秘の真実」などの記事を紹介しています。4 月号は、諸事情によりお休みを頂きました。

『まちづくりニュース 61 号』…2026 年 4 月に府中市社会福祉協議会が発行した情報紙です。

『府中市民交響楽団第 93 回定期演奏会』チラシ… 2026 年 5 月 24 日に府中の森芸術劇場どりーむホールで開催される演奏会のチラシです。3 月末に皆様へお届けしました。

『手打ち』…点訳作業はパソコンを使っていますが、初心を忘れずに！と手打ち点訳も行っています。毎月順番にメンバーが題材を探します。今回も新聞記事から 2 月は「天声人語」、3 月「筆洗」、そして 4 月は「街の B 級言葉図鑑」を点訳しました。

てまり日和

お祭り好きの我が町東京府中市では、今年も 2 月の節分、3 月の桜まつり、そして 4 月下旬から始まる大国魂神社例大祭「くらやみ祭」が 5 月上旬に終わると夏祭りまで一寸一息…なのですが、個人的には 5 月末に開催される市内アマチュア管弦楽団の定期演奏会に向けて追い込み練習が激化します。

私が奏するのは弦楽器の中で一番大きなコントラバス。「コンバス」とか「ダブルベース」、時には単に「ベース」とも呼ばれ、ジャズやフォーク界隈では「ウッドベース」とも呼ばれています。様々な名前、悪く言えば曖昧な呼び名を享受している楽器ですが、同じ弦楽器でもヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのヴァイオリン属とはそのルーツが違うのです。

時代に合わせて多少変化があるものの、16 世紀に生まれたヴァイオリンの形や大き

さは現代にいたるまで基本あまり変わっていません。ところが、コントラバスはヴァイオリンと似た形状（ボルドーワインの瓶のように肩が張っている）がある一方、なで肩（ワインの瓶で例えるとブルゴーニュワインですね）もあります。楽器の大きさも様々なので楽器を収納するケースを新しく購入するときなど、きちんとサイズを測って確認しないと、「新しいケース買った～！ 楽器が入らなかった・・・」なんてこともあるのです。弦を擦って音をだす弓もヴァイオリンと同じように上から持つもの（フレンチ）と下から持つもの（ジャーマン）があります。弦もヴァイオリンと同じ4本のものもあれば、5本のものもあります。なんとも統一性がないのですが、プロアマを問わず、一つのオーケストラでこのような様々なコントラバスが混在しています。

独自の道を進むコントラバスですが、オーケストラの中では和音の基礎をなしたり和声の輪郭を支える大切な役割を担い、音楽に安定感と深みをもたらし、オーケストラ全体の音を支える土台なのです。奏者も大雑把な、いや大らかで寛容な性格の人が多いとか・・・。

大きな楽器を抱え、豊かな気持ちで練習に励む毎日です。

てまりからのお知らせ

1. お読みにになりたい本・雑誌・パンフレット等がございましたら、点訳のご依頼を承ります。
2. 点訳ご依頼の際には原則として原本をお預かりさせていただきます。
3. 出来上がった点訳書のお渡しは「データのみでのお渡し」と「点字印刷でのお渡し」の二通りあります。詳細はお問い合わせください。
4. てまりが今までに点訳した書籍類の『蔵書点訳一覧』がございます。一覧やその中の点訳書をご希望の場合はお気軽にお申し付けください。一覧は無料です。

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 石黒喜美子